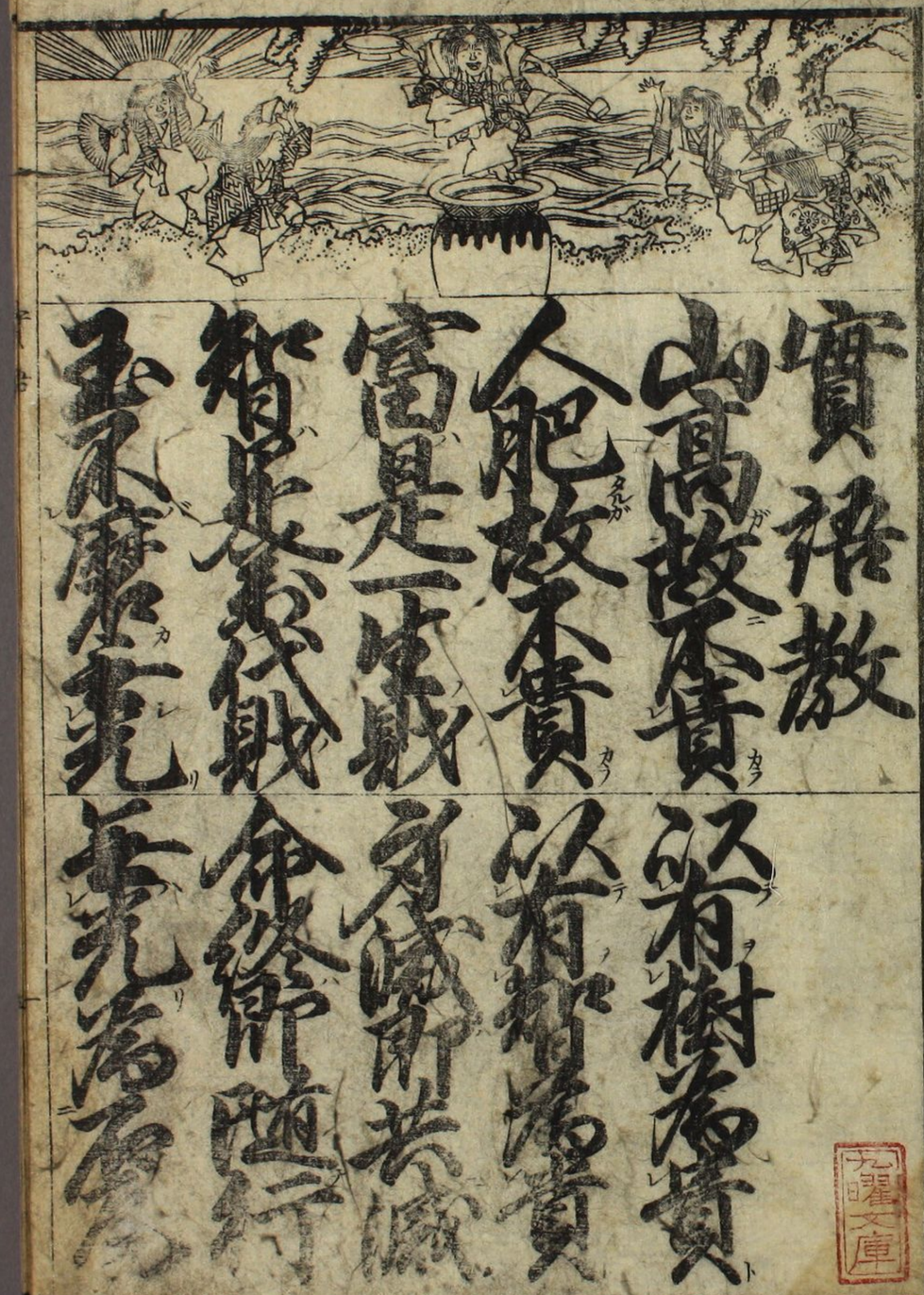
# 實語教童子教

補訂改正
頭書繪入

全

# 實語教童蒙教



實語教

山高故不貴以有樹為貴

人肥故不貴以有智為貴

富是一生財財滅財盡

賢是萬代寶寶滅寶亡

玉不磨之光光為石

九曜文庫

書道初

文徳樂射和実数
の六芸八倫二徳
を兼ねるり然中
乃八倫を尽く表ひ
ふるく上古より
ちり弟用無量
の抵用く実小義の
内し然八法皆行
四大日く表
物の内し然を
初時不勤学

人不学而貴
金内賊財行
雑積金不如一日学
兄弟常不合
賊物不本行
四大日く表
初時不勤学
老後雑悔

尚書有四益
学文分長時
思飢終日相
徒如向市人
只如計蒙賊
小人愛福人
為賊人者

故積書易倦
除眠通夜漏
雑倉師不学
雑潤積不慢
孝子愛親者
雑金富貴家
猶如霜下花

て初学しいろは仮
名四十七文字八こと
空海以四旬文濱
他宮高角徴羽の
五音を表ハ
和歌四十七
なり二段茶の
濱書ら尺知古実
の法をとり文字八
吳村養頼をとめ
て遊び交八唐文

虞舜の御世和朝
義神幸く御宇在
歳出の博士王仁来
つゝく奉千字文
是本邦始めて
知漢字盛觸り
其数七十二点の業
勝永文法あり
是を略して十七
点をもつて書籍の
数とす歌養書



人の家に入るに先ず主人を尋ね
べゝ又家犯度あ
る清潔掃除
祭の仏文あ事

雖出入貴賤
究竟中蓮
際最如月
父母在邦
釜無備如
師最侍夜
已見乳数
人面者智

為者智人者
父母如天地
親族如葉
父母孝初ゝ
交友初信事
已不及愛顔
不異於不仁

人面者智
不交愛何
不学問船
公道雖廣
云為方藥
数老如父
我数他人

不学於童生
慶遊七寛林
雖渡若海
十悪不徒
故先事不
母愛初如学
他人亦敬我

己敬人親者人亦敬己親
欺達者先今達作人
財作之慈即自苦患
国他人之喜則自苦悦
財宝者迷行見恵其益
好悪者非禍孤警種苦
修花者福宛如隨身影



雖富物貧式貧高後貧
浅貴物賤式貴後賤
夫雖習易忘音韻之深文
又易学難忘書筆博愛
但有食有法亦有才有命
猶不学農業必莫慶学文
故未代学者先案世書

吟ふりて倦怠
悔無く能書を
稱する事一生の
面目後代に名
誉をのこす其之法
書を学ぶ法は
まづ東坡来
元章の筆跡を
摹擬字姿を素
漢魏宋元明の

百家書をその体
変なり和漢とも
黄帝の間大字八
以水面墨書す
まづ手ふるひて
八夫法あり事業
の手習机のうえ
で不稽夫監文
法計算紙を押
法書不思議の風
俗美文実掃塵

是學問之始　身修養之終
臺子教　實倍教　修

大賢人君子　顯名揚身
遇勇士時　有業教業
遇明君時　情不顧力
為賢人當時　有作者種
不問者不答　有作者種
三寶之元　神明之根

奇麗筆毛　麻毛
兎毛　氣候毛の
筆不れの〳〵毛
紙ふ其ふ色あり
墨ハ煙紙油煙

人間成一　禮　師不可傾
過無時則慎　過社時則下
向堂塔之前　不仰不深
向聖教之上　不可踏足
人倫有禮者　胡越者有法
人而不禮者　犬中又有過
事不雖言　事朱共遠西

麻煙ホゴひぶん
工製と好こと古
きを用ゆべきく
紙は大書小書
書柳紙墨地
紙成用古百紙
庶ようと海ようり
超ドして帝業の
ときを用ゆべく
ず水の汚濁を有
ひどち地を考ゆべ

觸事不遠服言法不淫離
法者富少
老物如犬友
服者食
疾病聚會業
雪者有死
夏虫如入火
春者如遊林
紙者受過
人年者有禍
密而勿談言
人服者嫌天
隙而勿花用



員煙きを汚ぎ
えんちう
を市巷を用ゆ
べ一机ホ向ひ不
麻煙紙一千
くして夫べき事
尊要なり親人
哭ちて市巷一ち
親者し流れ者
ち法大所を用
佐理ホ臣定れて

東汚ニ千ス糖
人汚ニ千ス布
是禍之門
使ヒ奴婢
過言一出
曰至殊
禍福者

招く
訪れ
ちり

惟ホ千里ス
般損ス尺ス
布是禍之根
修ヲ敬業
若泗逆不逆
惡言ヲ雜
唯人在所拓

天作之孽猶可違
自作之孽難逃
大積善之家
必有餘慶矣
又好惡之處
必有餘殃矣
人而有法德
天乃陽報矣
人而有陰功
必有昭名矣
信力堅者
門戶福慶
意力強者
家祚綿延

漢書に云
ふ
ことを知る
えんきのうちに
をかく
知る山川
なんて
知ることを満つると
いへども文章を以
て書作をつくり

人不用如面
譬如水隨雲
不拘他人今
不斷他人馬
前車見覆後車為戒
孝事不忘
清事乃師
長三界流
離於福多
金石面皮
虎死白皮
清明十時
勿悔羅寡

對新をぞうとい
ぐし自由をを
もちうと俗人ふ書
ぐ　　
愛の始より夢
婦人の師を依け
ますすゝ夫婦と
厨くを病をつぎ
後世に大事仕の
ちんをを
ちゝ載
書乃例法

四季の文章

孝子不養人
撓而問樂
卿自隨卿
光問諱
君不世私諱
男者業
解宿疑矣

則民作業
問四國
作自隨作
為教人也
亡二尊男也
必有近憂
仙用針指記

秋月時人
師匠孝子
生者貴者
貴者必富
雖富安欲
貧人欲豆
師不別孝

非人為人慾
悪為人能
習修隙智德
富者必貴
是為貧人
是為富人
是為板敷

くもの二四重ちゝ
丸風吹ちゝも
ぞ男ふ素ちゝ
若ちゝ小松ち
くと二素の民
の新月へてちゝ
あざむゝ福出
差ちゝ
虜ゞ人ちゝ
置も新の糸
拾ふとある名日新

孫〻〻を部ゝ
形端よとをを
菖蒲茅ちを橘
の書をとめてむ
しれ人をんゆう

源有責家子是家財戒
高恩厚者所生活地獄
養育者所生天佛果
不順教子早可逐父母
不和者擯有成就加害
順恩人不思供養旦夕
則為人不離大恥如浮海

汎順恩友者如麻中蓬直
親近恩者如藍中荊曲
離徒朋所謂成宝業
根性愚鈍好貪学信
一日学一字三百六十字
一字為金一字助作性
一日所不学況数年所学

うたゝむ〳〵さびた
の杜子規を菊の
みどりの秋も影れ
行春のやうせ民し
ゆふ間うるてふう〳〵
さびの夕日ゆ
うつる石竹や庵
も日華と格る
の星さびいとふ
夕ぐれたく秀
戸ハ水鶏ゆ

陳者二世緣
親者一世眠
牙子天
師教不可諧
親恭孝
宝冠教不陀
懶惰
須義父母肯
家納日肯
朝早起法
桜意頭
夕遅寢酒
梅性柴
習讀不入意

秋ひそく星合ま
ちくりるき孔
せやいるく弱の
響む萩萩桔
梗女郎花橘茶
ちぶ花ちぐく

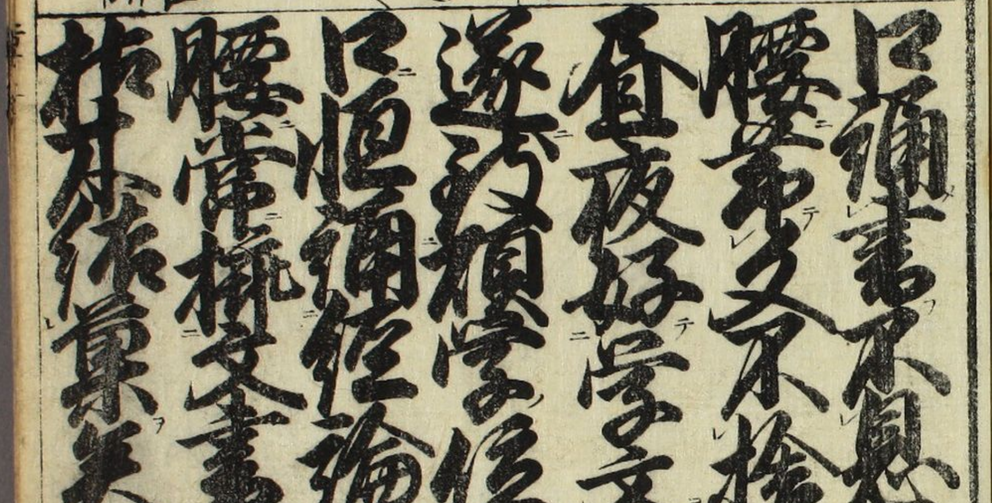
如醉度
文賊如除所
丑寒通夜補
除飢終日習
遊食倦學文
安身紀懶惰
駿馬乃學文

讀千卷不懶
薄衣之冬夜
乞食之夏日
醉酒人狂乱
濕月壁臨眠
匡衡為夜學
孫敬乃學文

因不通人
維制服不眠
繩墨類不眠
震雷為恍惚
徒雪為模糊
不知冠之長
不知表之流
劉完乃絳侯

穎考為學文
後裔乃學文
東流好夜學
宣士好夜學
休稱入意文
高風入意文

しづかに水
かゝるあり
しづかに水
枝ふとる
ゆれ池水
響きみゝ



已通書不通
腰帯又不捨
晝夜好學文
遂為積學士
已通經論
腰常横文書
抽不依量矣

恨實恨耕化
蓬蒿人有皆
文操四家
能歌養閑
又有巧制矣
漢儀通新古
乾坤史記

ふもと佐の庶出
あるをさや霊験
いと和〜あ仙
もをたふ泥ぐる
さき而洲が素
本のこをまでも
るゞ免ふあるを
風情あてゝ仰ふ
ゝを果ゝ来ゝ形る
筆〜て徳ゆ臣し
筆〜せいとし

右青侍清美仰英九歳初
果到時士位宋史七十初
嬰蓋深伝智者雖下劣
登高峯陶愚者陶高位
梁武刹之底智者化罪業
大海地獄愚者化罪者
小海地獄愚者常懶惰

東百官名

左門 右門 左中 右中 左内 右内 源江 清寺
老毛 波門 平馬 新母 云る 伊織 丹下 求馬
久茅 左脂 右猪 小膳 織江 妻人

賢智者常歓楽
猶如光音天 愚者高山
須彌山下如德者深海
流溟海濃 智者父海
赤肉者如海 赤白二諦和
合成體 分別人分
別人順者勞 歳時十月
生涯外教年

多門男也
文つ平角
宋女青門
一芳つ弥
文内隼人
義君亥文
典礼国書
岩尾矢柄
牧右清死
此面を今
梅平織弄
津る直

蒙父母養育　昼者背父膝
新麗頂演多　夜者附枕席
貴乳味授　朝安平山野
殺帝養子　暮陟平江海
源縁資身命　為公養命
月夜洗衣　朝夕味
多初深北嶽　裁奥不知恩





偏冠部

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 亻 | 食 | 禾 | 米 | 才 | 昇 | 女 | 糸 | 手 | 糸 | 日 | 月 | 石 | 目 | 角 | 口 |
| 木 | 竹 | 虫 | 言 | 牛 | 子 | 矛 | 乎 | 乎 | 乎 | 田 | 矛 | 乎 | 乎 | 乎 | 乎 |
| 衣 | 牙 | 方 | 足 | 月 | 牛 | 子 | 矛 | 乎 | 乎 | 乎 | 乎 | 乎 | 乎 | 乎 | 乎 |

林鳥林枝　義德不思德
新麗損草　酉爰折其父
天雷雲雨　現婦罵子母
霊蛇吸其命　郭巨為養母
姫穴潜雀金　姜詩之自婦
汲水沼庭家　垂宗哭行中
深雪中橘　王祥欲呼氷

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 中 | 法 | 尸 | 弟 | 戸 | 雷 | 辶 | 廴 | 冂 | 宀 | 阝 | 子 | 行 | 子 | 子 | 女 |
| 巾 | 比 | 子 | 弟 | 示 | 山 | 之 | 走 | 隹 | 穴 | 月 | 貝 | 尸 | 子 | 彳 | 羊 |
| 巾 | 肉 | 糸 | 糸 | 戸 | 貝 | 走 | 又 | 冖 | 牛 | 男 | 糸 | 糸 | 糸 | 糸 | 糸 |

堅凍上頭莫孫子養育文
酒造閑出服刑渠養老奴
嘗食成鬱花菫水賣一牙
傳養新恩楊國念稱奴
虎帯帰免毒頑為墓有士
高萬来運惟許牧自他墓
松柏植低墓嘗等人者皆

名頭字畫

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 源 | 年 | 茂 | 橋 | 金 | 銀 | 千 | 万 |
| 孫 | 堯 | 長 | 久 | 糸 | 清 | 繁 | 栄 |
| 文 | 市 | 肉 | 低 | | | | |

名頭
手本
よみ
圖

父母行孝養作法勝怒
不改悪成就生命常
早才傾涅槃懶惰不洗
逆不孝悪捉獣獣婆婆
金者生離苦亦忘六道
生者必滅悲寿命如蜻蛉
相生夕死矣身体如芭蕉

忠孝權義
庄右林梅
馬又宰篠
助新郷甚
勇武徳仁
定吾宗増
教猶紀利
卯辰寅興
紀丑乙六
勝巳青安
友座佐安
八仲宗丹

流易懷矣　儀羅錦繡者
金帛眞金矣　黄金珠玉者
兵一世賊寶　宝玉宋耀者
更非絲道資　宿住羅穀者
嚴猥世花開　汝羅鶴之矣
高恭不清程　雷鶯鷲之食
此驚不懷間　切利麟虎殿

理要改流
体伊宇戈
国太条沐
林冨鶴勇
寛岩虎和
赤儀角大
九藏国沿
爺軍莱頓
折涙丈祢
森熱孟廣
秀寛常毎
了鶴寂寿

歌遷化常　大枕高臺閣
此天四方若　須達之十徳
高於不常　所宵之七寶
云賞於樂命　月文澤月盛
彼傳孫使　龍帝枝於刀
彼折樹乗杖　人九有幼絶
施善程粮　人最不惜殿

左清　左清　長清　左丈　太郎　次郎　進正　右進　左進　射場　補佐　守督　頭正　厩様

名頭

大てい八国名村名表南字見合者より八一昌遠八後安のたくひこの成り寸一紀ナ

新田　足利　蒲生　古方　更級　百相

賊賓業採隙　長金貧窮見
不布施之賊　財化布施時
可生涙喜人　悲人施一人
功徳如大海　為己施諸人
得報如芥子　愛祈為接人
早祈薫金膚　折紀徐仏業
迷信蓮華淡　一句信受力

犬十子　犬養　遠水　助樂　埴原　完草　生仮　垂河　操原　二宅　能勢井　谷勢

却説倫理信　実偽聞法徳
勝二千劫定　上頂求仏道
中可報四恩　下徧及六道
云可成仏道　為誘引初輩
仏国果遊理　尚興外典
見者勿誹謗　聞者不生笑
童子教　終

紀　拾之治

十河 作家 展
役楽 階戸
日下 轍海
飛脚 大佛
月百 負雑
五百母 伊達
多門 日置
相良 鶴巡
三枝 仁木
師炊 紡錘
麻窟 五百棲
名字盡

日の吳る毎

周穎 彩日 中旬 廿日
既朔 二日 念二 廿二日
旁死魄 三日 下弦 廿二日
載生明 三日 元三 彩日 月
上弦 八日 上巳 三日 月
上旬 十日 端午 五月 日
上陽 十日 七夕 七月 日
敎星 十四日 回面 八月 日
望 十五日 重陽 九月 日
既望 十六日 重陽 九月 日
載生魄 十七日 重陽 九月 日

不成就日 卯月 三百十日 十九音
四月 曽十音 昔廿音
成願就日 五月 二百十日 十八音
正月 二ゝ 三ゝ 四い 五う 六ゝ
七り 八れ 九ら 十ら 十一ら 十二ら
五月 三百十日 十七音
五月 音十音 昔廿音
十二支 子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥
子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥
十幹 甲 乙 丙 丁 戊 巳 庚 辛 壬 癸
甲 乙 丙 丁 戊 巳 庚 辛 壬 癸
六月 百十四日 廿音 昔
三九月 百九日 十七音

文化四丁卯年三月發行
元治二乙丑年三月再刻
馬喰町貳丁目
東都地本問屋 錦森堂 森屋治兵衛板

三體伊呂波

い に ち ぬ と り た る わ か ぬ よ た れ そ つ む ら な む く や け ま の お く し あ ま さ き め ゆ き み し ゑ ひ も せ す
イ ニ ツ 仁 止 知 奴 和 太 良 門 ソ 鳥 井 久 計 江 左 女 メ 美 之 毘 エ 世 セ
ろ ほ へ と ち り ぬ る を わ か よ た れ そ つ ね な ら む う ゐ の お く や ま け ふ こ え て あ さ き ゆ め み し ゑ ひ も せ す
ロ 呂 ハ 波 ヘ 辺 ト 止 チ 知 リ 利 ヌ 留 ル 流 ヲ 遠 ワ 和 カ 加 ヨ 与 タ 太 レ 礼 ソ 曾 ツ 津 ネ 祢 ナ 奈 ラ 良 ム 武 ウ 宇 ヰ 井 ノ 乃 オ 於 ク 久 ヤ 也 マ 末 ケ 計 フ 不 コ 古 エ 江 テ 天 ア 安 サ 左 キ 幾 ユ 由 メ 女 ミ 美 シ 志 ヱ 毘 ヒ 比 モ 毛 セ 世 ス 寸

大本類目錄

實語教ハ眞言の祖金剛宮海大般若經ヨリ出されーとなり又法華經從地涌出品ニ我今實語を說ク一人ノ不信ゼよとありしより作られたりといふ亦童子教ハ洛西花山の僧法印の門弟安然師の作のよし彼惠空法師の後解又元巻寺の僧法印の作のよし一千余年以來童子教の教と自性院のうくさめ巻をあらせ教化みて來代まで巻をめ教化みて廣大なる事明らかなり

御成敗貞永式目
改正寶玉庭訓往來
豐泰商賣往來
大學 素讀本
中庸 同
寶便古狀揃
壽世江戸往來
百姓往來豊年藏
萬寶古帖揃
萬世消息往來
近道子寶文章
實語教童子教

書物地本問屋 錦森堂 森屋治兵衛
江戸馬喰町二丁目